

◆ 編集後記 ◆

川が増水をはじめる前、鮎や山女は盛んに砂を飲み込んで、ながれに対抗する安定性を確保するための準備をするそうである。本能とは「後天的な経験や学習を経ずに動物が先天的に持っている行動様式」と辞書に記されている。しかしヒトはこの部分が最も欠けた動物に進化してしまったようだ。

ナイチンゲールが説いた看護婦の心得に「今まで経験したことのないことを感知できる感性を持つこと」というのがある。現代のように何がおきても不思議でない時代にはこうした感性が必要である。開発土木研究所月報にもこうした感性がいかせるような誌面づくりができればいいなと考えている。

(鈴木、沖田)

編集幹事会

幹事長	河崎健吾				
幹事	山下彰司	明田定満	佐藤昌志		
	北野初雄	福澤義文	高橋守人		
	沖田良隆	鈴木哲也	大沼秀次		

開発土木研究所月報
No.526 1997年3月
平成9年3月21日 発行

発行所 北海道開発局開発土木研究所
062 札幌市豊平区平岸1条3丁目
TEL(011)841-1111 (代表)
FAX(011)824-1226

印刷所 株式会社 企画クラブ
札幌市中央区大通東3丁目1番地
TEL 271-1581(代)